平成 29 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文: CRC 宇宙線将来計画研究会

英文: CRC workshop for future plans in cosmic ray research

研究代表者 名古屋大学宇宙地球環境研究所 伊藤好孝

参加研究者

手嶋政廣 東京大学宇宙線研究所

中畑雅行 東京大学宇宙線研究所

大阪市立大学大学院理学研究科 荻尾彰-神田展行 大阪市立大学大学院理学研究科

西嶋恭司 東海大学理学部 立命館大学理工学部 森正樹 吉田滋

吉田滋 千葉大学理学部 さこ隆志 名古屋大学宇宙地球環境研究所 田島宏康 名古屋大学宇宙地球環境研究所

中森健之 山形大学理学部

吉田龍生 茨城大学理学部 塩沢真人 東京大学宇宙線研究所、 他 CRC 会員

研究成果概要

本年度は将来計画検討小委員会の元、2回の CRC 将来計画タウンミーティングを開催した。

第一回は、6月24-25日(東大柏キャンパス総合 研究棟6階第会議室)において、「将来の地下実験」 をキーワードに、CRC でこれまで議論されて来た 原稿実験、将来計画を含む地下素粒子実験の各将来 計画について集中的に議論し、CRC 会員の見聞を



広め深めるとともに、各将来計画間の可能な連携を模索した。ニュートリノ観測、暗黒 物質探索、二重ベータ崩壊の各トピックから20個の計画が議論されると共に、国内外 の研究状況に関するレビューも織り交ぜられた。 第2回は、12月15-16日(東大柏キ



ャンパス総合研究棟6階第会議室)で行われ た。今回は、新しい将来計画につながる挑戦 的あるいは萌芽的な発案を促し、新たな提案 をつのって検討することを主眼とした。一部 のレビュー以外全ての講演は公募とし、その 条件として、挑戦的 and/or 萌芽的で、既存の

プロジェクトにとらわれず、実現可能性は問わず、20年後を見据えた夢のある大風呂 敷を広げた、新規提案とした。全く新規計画を尊重するが、既存将来計画の発展形も加 えることにした。参加者は61名で、招待講演としたハイパーカミオカンデ以外に17個 の新規提案があり、活発な議論とブレーンストーミングの機会となった。